

平成 20 年度海岸工学委員会幹事会（第 2 回） 議事録

日 時：平成 21 年 4 月 10 日（金） 14:00～16:00

場 所：土木学会 講堂

出席者：磯部委員長，佐藤幹事長

青木，岡安，川崎，栗山，後藤，小林，榊山，重松，柴山，諏訪，高木，武若，田中，
中山，灘岡，日比野，藤原，森，横木，村上（敬称略）

議事：

1．前回議事録を確認した

2．報告事項

- ・ 第 55 回海岸工学講演会（富山）が盛況のうち閉会との報告（佐藤幹事長）

3．第 56 回海岸工学講演会（海岸工学論文集第 56 巻）応募論文審査について

（佐藤幹事長，青木委員）

- ・ 381 編の応募があり，査読者評価の合計が 17 点以上の 285 編，16 点の 15 編の合計 300 編を第一段査読で採択した結果が報告された．併せて，分野別の採択数，採択率等について報告がなされた．
- ・ 査読者評価の合計が 16 点の論文採択について，論文集編集小委員会より次の説明がなされた．2 点以下の評価を含まない 12 編を採択した．1 点の評価が付いた論文 2 編については，コメントの内容を確認したうえで採択した．また，2 点が付いた 1 編については，類似の他の 2 編とまとめることにより論文の質が向上すると判断できるため採択した．（第一段査読の詳細は添付資料参照）
- ・ 今回から，第一段査読では，査読者に対して平均点が 3.5 程度になるような評価を依頼した．評価の目安との整合から，次回から平均点が 3.5～4 程度となる評価を査読者に依頼することとした．
- ・ 第 2 段査読に向けた今後のスケジュールと査読手順（昨年と同様）を確認した．
- ・ 第 2 段査読で採択された論文については，J-Stage への対応から新たに BIB ファイルの提出が必要になる旨の報告があり，その内容が説明された．
- ・ 今回から J-Stage にも論文が掲載されるが，同時に紙媒体でも論文を出版するため，論文のカラー原稿は引き続き不可とする．
- ・ 紙媒体での論文集の出版形態を継続することについて，早急に議論する必要があることが確認された．（CD＋紙媒体の形式での出版はしないことは昨年度までに確認済み）
- ・ J-Stage の様々な提供サービス（アクセス統計サービス，リンクシステム，Graphic Abstract，電子付録，学会 Web との連携など）が説明された．
- ・ J-Stage では投稿時に論文が Full Open になるため，論文集の購入数が減少することが懸念される．しかし，土木学会全体としては電子化の流れであり，海岸工学委員会もその方向で進める旨が確認された．なお，本年度は試行であるためアクセス制限を実施しないが，アクセス制限の取り入れについては J-Stage 上での公開時期と合わせて今後の検討課題とする旨が説明された．

4．第 56 回海岸工学講演会（2009 年 11 月 18 日（水）～20 日（金），水戸市）の準備状況について

（横木委員，武若委員）

- ・ 講演会および懇親会の会場の準備状況について報告がなされた．

講演会：県民文化センター

（小ホール(460)，集会室(120，150，100，60)の 5 会場＋集会室(10，10，24，10)）

懇親会：11 月 19 日（木）18:30～，三の丸ホテル（水戸駅北口前）

- ・ 講演会の前日にシンポジウムと現地見学会を開催予定で，それらの準備を進めている旨の報告

がなされた。

5. 第 57 回及び第 58 回海岸工学講演会の開催について

- ・ 第 57 回海岸工学講演会（2010 年 11 月 10 日（水）～12 日（金））の準備状況が報告された。
（後藤委員）
講演会：京都テルサ（JR 京都駅より南へ徒歩 10 分程度）
懇親会：京都駅周辺のホテルを準備予定
現地見学会：講演会の前日（11 月 9 日）に大阪周辺で実施予定
旅行代理店等を通じた宿泊案内は予定せず，各自対応とする旨が説明された。
- ・ 第 58 回海岸工学講演会（佐藤幹事長）
引き続き開催地を検討

6. Coastal Engineering Journal について（柴山委員）

- ・ 2009 年 Vol.51, No.1 に 4 編の論文が掲載予定
- ・ 投稿論文数は順調に推移している旨の報告がなされた。
- ・ 現在の購読数は 141 件。
- ・ Coastal Engineering Journal の維持に年間 8000 ドルの経費がかかっている。当初の契約に基づき，日本での購読数を 80 件以上（現在 50 件）にする委員会としての努力が必要との説明がなされた。

7. 小委員会等の活動について

- ・ 広報小委員会（武若委員）
Web のメンテナンス，海岸工学データベースのサーバ変更とデータの追加，写真ライブラリ（試行中）のデータ設置場所の確保状況について報告がなされた。
- ・ 津波被害推定および軽減技術研究小委員会（岡安委員）
実施状況の概要が説明された。
- ・ 数値波動水槽研究小委員会（後藤委員）
研究レビュー報告書を取りまとめ中であり，2 期目でも報告書の取りまとめを継続する方向であることが報告された。
2 期目ではベンチマーク WG（岡安小委員長）を設置してベンチマークテストを実施する予定であることが報告された。
重点研究課題（研究助成）に応募したが不採択であった旨が報告された。
- ・ 地球温暖化適応策検討小委員会（横木委員）
2008 年 11 月の海講の際に小委員会を開催し、土木学会温暖化対策特別委員会の報告（横木委員長），および海面上昇が護岸上部工の安定性に及ぼす影響についての報告（関本委員）がなされた旨が報告された。
土木学会温暖化対策特別委員会の報告と平行して小委員会の報告書をまとめる予定。
上記特別委員会の提言骨子が学会誌 5 月号のミニ特集に掲載予定である旨が報告された。
- ・ 沿岸域研究連携推進小委員会（重松委員）
小委員会のホームページを作成中であること，および 4 月末をめどに新委員を若干名募集中である旨の報告がなされた。

8. 第 45 回水工学に関する夏期研修会（B コース）開催について（藤原委員）

- ・ 第 45 回水工学に関する夏期研修会の準備状況が報告された。
開催日：2009 年 8 月 5 日（水）～6 日（木）
場 所：福島県日本大学工学部 70 号館

テーマ：河川・海岸管理とそれを支える技術

研修会の具体的な内容と講師については、引き続き検討する旨の説明がなされた。

9. その他

- ・ 新委員・幹事について

次期の新委員・幹事の候補者が各地域・職域から推薦された。未決定分については5月中旬までに幹事長および岩西さん宛てに連絡すること。

- ・ APAC2009 (10/13～10/16), Coastal Dynamics2009 (9/7～9/11) の説明がなされた。

- ・ Coastal Structures が2011年に日本開催予定。

(独)港湾空港技術研究所高橋研究主監が中心となり、海岸工学委員会と海洋開発委員会がサポートして準備を進める旨が報告された。

- ・ 次回委員会 6月19日14時～(土木学会)

(記録者：村上)